

假名遣
ルビ
(原稿通り)

新しき朝

山口 茂吉

新しき朝あさあけ明にして樹木きぎの葉のそよぎの音の聞こゆるのを

相接し居りといへども平凡にきのふに續く今日とおしはず

つづまりし日が伸び行くと思ふにそこころは展ひらく新しき朝

わが庭のさむき泉がこの朝明あさけいたく澄めるを心にとどむ

あけぼのの光に紅く染まりたる新しき丘をあれのまにまに